



# 都響

音楽監督 大野和士

主催：公益財団法人東京都交響楽団  
後援：東京都、東京都教育委員会

## アラン・ギルバート首席客演指揮者就任 白熱のタクトが切り拓く、新たな地平

都響スペシャル

【アラン・ギルバート首席客演指揮者就任披露公演】

2018. **7/15** [日] / **16** [月・祝]

サントリーホール | 14:00 開演  
(13:20 開場)

指揮 / アラン・ギルバート

シューベルト：交響曲第2番 変ロ長調 D125

マーラー：交響曲第1番 ニ長調〈巨人〉

# Alan GILBERT

TMSO Special

Sun. 15 July 2018, 14:00 at Suntory Hall

Mon. 16 July 2018, 14:00 at Suntory Hall

Alan GILBERT, Conductor

Schubert: Symphony No.2 in B-Flat major, D125

Mahler: Symphony No.1 in D major

第859回 定期演奏会Cシリーズ

2018. **7/21** [土] | 14:00 開演  
(13:20 開場)

東京芸術劇場  
コンサートホール

指揮 / アラン・ギルバート

【バーンスタイン生誕100年記念、ガーシュウィン生誕120年記念】

ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調 op.95 B.178〈新世界より〉

バーンスタイン：「ウエスト・サイド・ストーリー」より「シンフォニック・ダンス」

ガーシュウィン：パリのアメリカ人

Subscription Concert No.859 C Series

Sat. 21 July 2018, 14:00 at Tokyo Metropolitan Theatre

Alan GILBERT, Conductor

Dvořák: Symphony No.9 in E minor, op.95 B.178, "From the New World"

Bernstein: Symphonic Dances from West Side Story

Garshwin: An American in Paris

# Swing, Dance, Song, America!



対象公演

Photo: Kenji Hata



# アラン・ギルバート首席客演指揮者就任 白熱のタクトが切り拓く、新たな地平

## 都響スペシャル

【アラン・ギルバート首席客演指揮者就任披露公演】

2011年7月の初登場以来、共演のたびに密度の高い名演を生み出しているアラン・ギルバート。バトンの切れ味、作品内面への踏み込み、豊富なアイデア、そして何より都響との演奏を思う存分エンジョイする姿は、聴衆のみならず演奏家の心もとらえて離さない。首席客演指揮者就任はまさに待望のニュースだった。

そしてギルバートが就任記念の演奏会に選んだ曲は、シューベルトの第2交響曲とマーラーの第1交響曲。マーラーは、歴代の音楽監督・首席指揮者たちが培ってきた都響のコアレパートリーであり、信頼される指揮者にのみ任される都響サウンドの精髓。青年マーラーが多感な心情を表現した交響曲第1番《巨人》は、マーラーの交響曲作曲家としての出発点となった記念碑的作品。ギルバートは2016年7月に第5交響曲を指揮し、圧倒的な名演を聴かせた記憶も新しいだけに、都響との新たな出発に際して第1番を採り上げるのは自然な流れと言える。マーラー・ファンにとっては慣れ親しみすぎた曲かもしれないが、どうか侮ることなく、さらにフレッシュで美しいマーラー像の誕生を目撃しに来てほしい。

一方のシューベルト第2番は、意外な選曲と思われるかもしれない。実際、演奏機会は多くない。だが、ギルバートは「いい曲だから、ぜひ聴いてほしい!」と自信を持って勧める。後期のハイドンやモーツァルト、そしてベートーヴェンからの系譜を実感させる堂々として快活なシンフォニーで、どの楽章も歌心に満ち随所に聴きどころを持つ逸品。

かつてクラウディオ・アバドは、「自分にとってマーラーはシューベルトの世界、歌曲やカンマームジークの世界に近い。内面の世界だ。だから自分はシューベルトも好きだ。」と語った(ベルリン・フィル退任にあたってベルリナー・ツァイトUNG紙のインタビューより)。ギルバートがアバドと同様に感じているかは明らかでないが、シューベルトとマーラーには歌謡性の面で共通する魅力があり、ウィーンで活躍した偉大な作曲家二人の青年期のエネルギーあふれる名曲の組み合わせは、オーケストラにとっても聴衆にとっても純粋に音楽の楽しさを味わえる、ギルバートらしい巧みずして見事なプログラミングと言えるのではないだろうか。さあ、ギルバート&都響の新たな冒険の始まりだ。

## Swing, Dance, Song, America!

第859回 定期演奏会 Cシリーズ

レナード・バーンスタイン生誕100年と、ジョージ・ガーシュウィン生誕120年を記念したアメリカゆかりのプログラムを、アラン・ギルバートの指揮で。新天地アメリカから故郷ボヘミアへの思いを込めたドヴォルザークの名曲《新世界より》。名作ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」から生まれたエキサイティングな《シンフォニック・ダンス》では、ラテンのリズムが炸裂し、オーケストラが色彩豊かに躍動する。そして、ガーシュウィン自身のバリ滞経験を反映させた《バリのアメリカ人》は、ウィットに富んだ“シンフォニック・ジャズ”の傑作。パリを訪れたアメリカ人が街をそぞろ歩き、喧騒に耳を傾け、異国情緒に心を奪われる様を描いた交響詩だ。夏の日午後にふさわしい、親しみやすく爽快なオーケストラのライヴコンサートにぜひお出かけください。

### Profile

#### アラン・ギルバート (指揮)

Alan GILBERT, Conductor

2017年まで8シーズンにわたりニューヨーク・フィル音楽監督を務め、在任中に2つの現代音楽シリーズ「CONTACT!」「NY PHIL BIENNIAL」を立ち上げるなど、芸術性を広げる活動が高く評価された。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管などへ定期的に客演、メトロポリタン歌劇場などオペラ公演へ登場、またジュリアード音楽院で指揮科とオーケストラ科のディレクターを務めるなど、活動は多岐にわたる。現在、ロイヤル・ストックホルム・フィル 桂冠指揮者。2018年4月より都響首席客演指揮者、2019年9月よりNDR エルプフィル首席指揮者に就任。



©Rikamaru Hotta

都響スペシャル | 第859回 定期演奏会 Cシリーズ S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥5,000 Ex/P ¥4,000

一般発売 3/23 [金] 午前10時～ | 都響会員先行 3/16 [金] 午前10時～ | 発売初日は電話・WEBのみ受付  
窓口は翌営業日より受付

※いずれの割引もEx・P席は対象外。詳細はお問い合わせください。※やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。※演奏会中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。※未就学児入場不可。

|  |  |  |
|--|--|--|
| <b>各種割引</b><br>[対象:S-C席]<br>シルバーエイジ割引<br>(65歳以上、200席限定)<br>30% OFF<br>U25割引(生年月日<br>1993年4月1日以降)<br>50% OFF<br>託児サービス<br>事前予約制<br>※詳細はお問い合わせください   | マイチョイス割引<br>ハンディキャップ割引<br>都響おそ割 [7/21] |  |
| <b>プレイガイド</b><br>[定額のみ取扱]<br>◎サントリーホールチケットセンター [7/15,16] 0570-55-0017 ◎東京芸術劇場ボックスオフィス [7/21] 0570-010-296<br>◎チケットぴあ (Pコード: 110-155 [7/15,16]・110-217 [7/21]) 0570-02-9999 ◎イープラス <a href="http://eplus.jp/tms/">http://eplus.jp/tms/</a><br>◎ローソンチケット (Lコード: 34193 [7/15,16]・32174 [7/21]) 0570-000-407 |  |  |